

分野	ため池の補強等		事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(農村災害対策)				
市町村名	信濃町	ふりがな 箇所名	しなの 信濃		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～		年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	農業用排水施設整備 L=1,600m 農業用ため池整備 N=1箇所				H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	-				用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
	事業費計(千円)	125,000	0	0	0	125,000				
財源内訳	国庫支出金	62,500				62,500				
	その他	26,250				26,250				
	県債	32,000				32,000				
	一般財源	4,250				4,250				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	10戸以上	1～9戸	0戸	A	15			
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		5			
		小計					20			
	重要性 (15)	水利施設としての依存度	依存度大	依存度中	依存度小	A	7			
		かんがい(排水)受益	100ha以上	40ha以上100ha未満	40ha未満		4			
		防災計画上の位置づけ	位置付けあり	位置付けなし			3			
	小計				14					
	効率性 (10)	防災効果(B/C)	1.2以上	1.1以上1.2未満	1.0以上1.1未満	C	2			
		早期発現度(効果発現まで)	5年未満	5年以上10年未満	10年以上		2			
		ローコスト化(削減)計画及びコスト削減及び代替案検討等	(様式4)3項目以上該当	(様式4)2項目該当	(様式4)1項目該当		0			
	小計				4					
	緊急性 (35)	施設への影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある	B	7			
		周辺へ与える影響	影響が明白	影響が推定される	影響の兆候がある		4			
		過去の被災履歴(河川管理者からの改善要求等)	5年以内に複数回(改善要求書がある)	5年以内に1回(改善勧告がある)	左記以外に被災有(改善勧告なし)		10			
応急対策の実施状況		応急対策実施中	過去に実施済み	応急対策未実施	3					
小計				24						
計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	3				
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3				
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		4				
小計				10						
費用対効果(B/C)	1.15			評価の合計			B	72		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	稲付用水路は、霊仙寺山(1875m)の北斜を流れる山腹水路であり、昭和60年7月の豪雨災害で越流決壊が発生し、周辺の板橋集落及び農地に土石の流入による被害が発生した。上流の区間には依然として未改修の土水路区間が残っており、豪雨の発生時には、同様の被害が発生することが懸念されている。また、柏原用水路は、コンクリート水路の劣化等を原因とする漏水や増水時の溢水により、周辺農地及び公共住宅、工場、JR信越本線黒姫駅等への甚大な被害が懸念されている。								
	地域からの要望経緯	用水路を管理している、稲付用水組合、柏原用水連合から町をととして改修の要望が出されている。								
	事業説明等の経緯	受益者に対する説明会を行い、地元からの要望を確認しており、事業に対する合意形成が図られている。今後事業内容の精査と併せ、広報誌や説明会などにより広く事業の周知を図っていく。								
	環境・景観への配慮項目	面的、あるいは地域を分断するような線的な整備がなく、大規模な地形の変更や樹木の伐採は行わないため、生態系等への大きな影響は想定されない。工事に伴う、水質汚濁、騒音、振動等による周辺環境への影響を軽減させながら事業を推進する必要がある。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
特記事項	特になし。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	ため池及び排水路等施設の老朽化により災害防止機能が低下しており、下流域の民家・公共施設等保全対象が多い事から、必要性、緊急性が高い。			政策評価課意見	必要性は認められる。					